



BOOMERANG

賛助会の役割を想う

会長 木村耕三

5月1日に新元号「令和」に改元されました。皇太子殿下が新天皇に即位され心よりお慶び申し上げます。ボーイスカウトと天皇家とのかかわりは深く、昭和天皇は大正10年5月17日に英国でB-Pと謁見され、これを契機に翌大正11年にボーイスカウト日本連盟の前身である「少年団日本連盟が」設立されました。

また新天皇が皇太子殿下の時代には日本スカウトジャンボリーでは毎回お言葉を頂いております。

さて毎年3月に日本連盟への登録作業があります。これはスカウト及び指導者の登録で、全国的には人数が減少傾向にあります。今年度では神奈川連盟でも約500人の減少でしたが、川崎地区は微少でこれは地区全体がスカウト人数増加に力を入れてきた努力の賜物と心強く感じています。

当賛助会も会員の減少傾向が続いておりますが、市議会議員の先生のお力をお借りしつつ賛助会自体も会員増加に鋭意努力をする所存でございます。川崎地区はスカウトの活動・行事・進歩及び指導者の養成などに直接携わります。

一方賛助会はその活動を支えるための財政支援が役割であります。令和元年に当たり、賛助会の役割をあらためて心に強く認識するところでございます。

明日の日本を背負う青少年育成のために、ボーイスカウト川崎地区と川崎地区賛助会が一体になって、この厳しい時代を乗り越えていかなければならないと強く肝に念じています。

また、一人でも多くの青少年がボーイスカウト活動を体験することによって、社会に出て立派に通用する人材になることを心から願うものであります。

今後も皆様のご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

■理事会報告

第192回、2019年3月10日（日）総合自治会館

- (1) 賛助金関連
- (2) 川崎地区からの賛助金承認
- (3) ブーメラン6号の発刊について
- (4) ニューイヤーパーティーの報告。
- (5) 川崎地区総会、4月21日（日）総合自治会館
- (6) 会員増強

■ニューイヤーパーティー報告

平成31年1月26日 川崎総合自治会館において参加者92名で福田川崎市長も参加され盛大に開催されました。

恒例の参加者からの寄贈品によるオークショ

ン等は皆様のご協力により売上金は151,200円となりました。

■賛助事業の御紹介

スカウト支援委員会 井上 景

◆ビーバーまつり 2018

2018年6月24日、ボーイスカウト川崎地区主催の「ビーバーまつり」が土橋小学校の体育館で行われました。この「ビーバーまつり」は、川



崎市内のビバースカウト(小学1~2年生)が集まるイベント。ボーイスカウトらしいゲームが展開され、楽しい活動となっています。今回の参加はスカウト・リーダーほか、総勢176名。大人の参加するゲームなどもあり、全員で盛り上がりました。昼の時間は、各団が用意したゲーム。ラリー的にコーナーを回ってゲームを楽しみます。元気なビバースカウトたちの声が体育館に響いていました。

◆スカウトラリー2018

2018年9月23日、ボーイスカウト川崎地区主催の「スカウトラリー」が生田緑地で行われました。この「スカウトラリー」は、川崎市内のスカ



ウト・リーダーが集まるボーイスカウト川崎地区最大のイベント。

年1回この時期に実施しています。今回は、11の団、600名以上が参加しました。

ビバー隊、カブ隊のスカウトたちは、生田緑地内に用意された工作やゲームに参加。また、ボーイ隊のスカウトたちは生田緑地全域を使ったオリエンテーリング風ゲームで普段学んでいる技能を使ってゲームに参加しました。それぞれが楽しい1日を過ごしました。

最後に柘形山の広場でセレモニーが行われ、解散となりました。

◆第47期白梅隊

2018年10月7~8日、第47期白梅隊の1泊移動野営が実施され、各団から19名のスカウト

が参加しました。結隊は9月1日。1~2日に行われた集会でハイキングについてレクチャーを受け、当日までにそれぞれが計画書を作成。そしてメインの1泊移動野営。コースは、JR足柄駅を出発し、矢倉岳を登り、夕日の滝でテント泊。翌日は金時山に一気に登り、JR御殿場駅を目指します。テントや食料など、すべての装備を持つての移動野営は初めてのスカウトも多く、苦労はあったものの全員が無事ゴールできました。



その2週間後、雨天で延期になっていた大型工作物の作成する集会を行って今期の白梅隊は終了しました。この経験をぜひ今後の活動に生かしてもらいたいものです。

【川崎市・ボルチモア市姉妹都市提携40周年記念】 ■第28回 ボルチモア・川崎 スカウト交流に際して

国際委員長 西角 恵輔

例年通り、昨年度の受け入れに呼応して令和元年は川崎からボルチモアへの派遣を予定しています。



本年はボルチモア市-川崎市姉妹都市40周年に当たり、両市の国際交流の一端を担うべく、ボルチモア市の姉妹都市委員会とも連携しながら企画を進めております。またガールスカウト

川崎連絡会と合同派遣を予定しており、今後の両団体の更なる連携と川崎市における青少年団体の国際交流の発展の礎になるよう、ボルチモアリーダーと密に連携して新たな派遣の形を模索して参りました。賛助会様におきましては、これまで本事業に多大な支援を頂いており大変感謝しております。この事業が末長く継続できるよう、今後とも何卒よろしくお願ひ申し上げます。

【特別寄稿】

■先達との出会い

賛助会理事 鈴木秀明

中学生の時、世田谷の豪徳・経堂周辺を主な活動地域にしていた東京133団（現在世田谷第10団）へ学友に勧められて入団しました。ある時、梅ヶ丘へ引越され他団から133団に移籍した中村勝宣さんと言うスカウトと年長隊時代、共に活動していました。勝宣さんの父親が著名な中村知先生とは分らず“ちーやん”の愛称で親しまれ、数々のスカウトソングを作詞作曲された方としばらくしてから知って驚きました。ある時、勝宣さんからヴァイオリンを習っていた私に音楽グループへ誘われ、代田橋の一軒家へ行くとそこには私が通った松沢小学校の校長、山口勝治先生が指揮棒を振っていました。勝治先生もスカウトソングを作詞作曲され東京連盟の副連盟長も務められた先達のお一人です。主に交響曲クラシック音楽をしたか記憶が曖昧ですが山口先生とも親しくさせて頂きました。私は、世田谷区松



中村知先生

原に所在する日本学園に中高と学びました。中学二年の頃と思いますが、新校長として着任されたのが日本連盟総長の久留島秀三郎先生でした。スカウトとして久留島先生にお会いする機



したが、長男を43団へ入団させることになり、懐かしい133団時代の頃、少年隊長の稲葉さんが神奈川県連で活躍されていることを知りました。稲葉睦美さんは古巣133団を立ち上げた方でスカウト活動を通じて人の生き方を教えて頂きました。私は現在、音楽ボランティアと一緒に活動している高校時代からの友人がいます。その友人は、私がスカウト時代に所属した133団の団委員長を務めていました。今、振り返るとボーイスカウトを通して素晴らしい人達に出会えたことは私の誇りであり感謝に堪えません。

【シリーズ】

■賛助会のあゆみ（第6回）

賛助会副会長 近江廣之

賛助会の理事会の編成は、はじめは、各団の財政委員、地区の財政委員会にて、基本の案を作成して進めましたが、各団の委員さんは毎年変わりますので、地区の役員の中より人選を行って進めてまいりました。



故・石井会長、故・古尾谷会長

この理事会は、通常の理事会のメンバーに地区協議会協議会長と地区委員長の2名の方に自動的に入って

いただきました。これは現在も同じに続いております。会の目的は、川崎地区協議会のスカウト、指導者への賛助を行なうことです。ですから、通常の地区組織に関してはタッチはしない、地区が行うその行事に対して賛助をしぼったものです。

その項目については地区協議会が必要な項目を作り、賛助会へ申請していただき、予算をつけて行く、その為に地区協議会の正確な意見と地区の動き等をたえず聞きたいとの事もあり、理事会に入らせていただいております。

川崎地区から、翌年の予算申請をしていただき賛助会の理事会で検討し、総会にて承認し予算が決まります。

次に賛助金の多い項目について記してみます。

1. ボルチモア派遣交流、20万～25万円

この行事は川崎地区で長年に渡って実施されて来ました。スカウトが早い年代で、海外へ行き、ホームステイやキャンプで交流し、次の年に川崎にボルチモアのスカウトを受入れる、大きなイベントの賛助をしています。

2. GATC、及び、白梅隊の訓練会

ベンチャースカウト、ボーイスカウトの訓練会です。人数が少ない隊や指導者が少ない隊などが集まって、地区内の交流や進歩に関するプログラムを展開します。

3. ビーバー祭り、地区ラリー 地区のスカウトが一堂に集まり、ゲームなどを通じて各団の交流をはかる。

4. 大人のための勉強

理解者作ること、指導者の育成などにかかわるプログラムへの賛助。

近年はこのような項目に対して賛助を行なっております。賛助会は地味な会ではありますが川崎地区にとっては必要な会であり、川崎地区の発展に大きく役立っております。この会がどこまで続いて行くか、現在の会員の方々のご協力と、これから参加して、川崎地区の発展と一緒に頑張って行っていたただける方々の力で、ボーイスカウトの一人ひとりの力になって行けたらと思います。

■賛助会員の分布（2019年4月末日現在）

- ・準会員：8名
- ・個人会員：75名
- ・法人会員：10社
- ・団体会員：14団体

■会員の声を募集しています

本誌では会員の皆様からの声を随時募集しています。テーマは自由、400字程度 of 原稿と写真を是非お寄

してください。送り先は上記賛助会事務局へお願いいたします。

■会員募集

賛助会は随時会員を募集しております。青少年育成にご理解とご支援をいただける方の参加を歓迎いたします。

◆賛助会員の種類と会費

- ・準育成会員（年会費） 一口 2,000円
- ・個人会員（年会費） 一口 5,000円
- ・団体会員（年会費） 一口 10,000円

お問い合わせならびにお申込み、ご意見・ご希望は下記へご連絡ください。

◆お問い合わせ：賛助会事務局：鈴木

・E-mail : sanjokai@scout-kawasaki.org

・ホームページ：

<http://www.scout-kawasaki.org/sanjokai/index.html>

日本ボーイスカウト川崎地区賛助会

検索

●編集後記

新緑の季節を迎え十数年ぶりにファミリーキャンプを楽しんできた。隣に来たファミリーがタープをうまく張れず助けをもとめてきた。頼まれたうちの女房殿が「それではうちの職人をいかせますね」などといったそうだ。職人になれたのもボーイスカウトのおかげだが、この職人も高齢化による疲労は隠せない(H)



【法人会員のご紹介】

順不同・敬称略

富士高圧ガス工業株式会社 代表 谷屋 利隆	株式会社 デタケ 代表 出竹 惇文
日本エード株式会社 代表 小清水 克臣	株式会社 上作商店 代表 手塚 功
株式会社 沼崎商会 代表 沼崎 匡一	株式会社 清水製作所 代表 清水 鐵朗
愛和モールド工業株式会社 代表 石井 邦和	岡田信司税理士事務所 代表 岡田 信司
株式会社 杉山産業 代表 杉山 晴夫	(令和元年入会) 特定非営利活動法人 子育てを応援する会 代表 飯野 道子
(令和元年入会) ドリームキッズさぎぬまナーサリー 代表 富山 純江	(令和元年入会) 呉エンジニアリング有限公司 代表 野沢 義幸